

## 2. スピーチの学習指導について

齊藤真子

### スピーチの評価について

国語表現におけるスピーチは生徒による積極的な取り組みによって定着している。62年度は「スピーチ評価票」を取り入れた。目的は、(1)スピーチの評価をすることによって聞き方の反省をする。(2)感想をメモすることで聞くことと話すことを一体化した言語活動としてとらえる。(3)生徒の評価を点数化して教師の評価を考える、である。

「評価票」は各自記入後、回収して毎時間、点数と感想を抜粋して発表した。スピーチ時は緊張していた発表者も、この時は種々の感想に笑いを誘われリラックスしている。相互評価の良さが感じられる時でもある。

生徒の相互評価を点数化して、教師の評価を考える。その場合の留意点は以下の様である。

(1)教師による評価と評価票を点数化し、集計した生徒の評価が一致する。大部分は一致。〈資料3〉参照——事後の指導として「自己評価票」を提出させ次回スピーチの上達を図らせる。

(2)よい(3)普通(2)わるい(1)の三ランク法で、2ランクずれることはないが、1ランクずれる場合がある。〈資料4〉参照

生徒による相互評価で支持が高い理由には、次の二点が考えられる。第1は、発表者の日頃の生活態度等から、内容が実経験から出たものであり。高3としてクラスメートの前で真面目に「イヤだといえる意志」を主張する事は、勇気と決断がある事。第2は、聞き手が仲間として、又同じ弱さや問題意識を持つ者として、発表者の人間的成長に感動した事がある。

——ヘタでも心を動かすスピーチだった事を教師はどう評価するかという問題である。

スピーチを契機として自己変革と行動をとまなう例としては、「名大附属について考える」のA君がいる。九月の学校祭で牽引車の一人になった彼のスピーチは次の様である。「名大附属に入学して、ビックリベスト3①名大附には門がない——風紀の取り締まりの甘さ②自由な学校である——小人数でまとまりやすい③文化祭のヤル気のなさ——何事もヤル気がかんじん」日頃無口な彼は、全員の拍手を浴びた。——生徒相互の評価を生かしたい。——

(3)スピーチにおける内容面の評価をどうするかという問題はむずかしい。

「現代に生きる……明日の日本を見る」という長い題で大変長いスピーチをしたK君は、最後にすべての問題を解決するものとして戦争を位置づけた。このスピーチには反対意見が多数をしめた。しかし、少数ながら支持者もいた。——論争に適した内容から、スピーチよりもディベートで話し方の訓練を図るとともに、発展させる内容であろう。

生徒と教師の評価の一致例 〈資料3〉参照  
〈生徒〉 よい(90%)普通(10%)わるい(0%)  
感想の抜粋

- ・黒板に図解したのがおもしろかった。ダイナミック。
- ・教生の先生の授業みたいで楽しく聞かせてもらった。
- ・まえおき、本題への入り方、聞き手への興味の持たせ方等、とても良かった、GOOD!!
- ・専門的で面白い。しかし散漫な印象も。
- ・非常に興味深かったです。進化をどう受けとめるかまよいます。考えさせられた。
- ・題と内容があんまり関係ないですね。
- ・生物学が好きですね。私も考えた事があります。
- ・興味深い話でしたが、私には基礎知識が足りなかった。
- ・研究の成果があらわれすばらしいスピーチだった。
- ・はじめてオール3をつけました。話しかけられている気分だった。

〈教師〉 よい  
感想

準備が充分で練習がなされ、「生物の進化」というテーマを興味深く、わかり易くスピーチにまとめている。

日頃は言葉数の少ない、不言実行型であるので、落ち着いた話しぶりと、堂に入った間の取り方は、参考にさせたいものである。

生徒と教師の評価の不一致例 〈資料4〉参照  
〈生徒〉 よい(65%)普通(33%)わるい(2%)  
感想の抜粋

- ・本音が入っておもしろかった。
- ・すごく自覚というか……できててしっかりしている

- と思います。
- ・意外な面を見たような気がしました。私よりずっと大人ですね。
  - ・すごいことをいっていた。圧倒される。
  - ・自分もそうならないように心がけていることがよくわかった。
  - ・自分が、強い意志が全面にあらわれていた発表だと思った。
  - ・実体験にもとづけられた(?)話でとても良かった。
  - ・「なんか、「やっぱ、が多かった。

- ・当人にも問題があると思う。
- ・内容に一貫性でなかったような感じが少しします。でも一生懸命な感じがしました。
- ・自分たちの立場を考えさせられた。

〈教師〉 普通の下  
感想

内容と態度は真面目で、好感が持てるものだ。話し方ははくだけた会話体で、聞き手に印象づける。普段の言動と違い意外な驚きと真剣さを感じさせる。

〈資料1〉 スピーチ評価表

感想	態度	話し方	内容	よい	(5)		感想	態度	話し方	内容	よい	(3)		感想	態度	話し方	内容	よい	(1)	
					話題	話し手						話題	話し手						話題	話し手
	3	3	3	よい				3	3	3	よい				3	3	3	よい		
	2	2	2	普通				2	2	2	普通				2	2	2	普通		
	1	1	1	わるい				1	1	1	わるい				1	1	1	わるい		
感想	態度	話し方	内容	よい	(6)		感想	態度	話し方	内容	よい	(4)		感想	態度	話し方	内容	よい	(2)	
					話題	話し手						話題	話し手						話題	話し手
	3	3	3	よい				3	3	3	よい				3	3	3	よい		
	2	2	2	普通				2	2	2	普通				2	2	2	普通		
	1	1	1	わるい				1	1	1	わるい				1	1	1	わるい		

昭和六十二年度スピーチ評価表  
( )月( )日 批評者( )

〈資料2〉 スピーチ題目 (高3B)

- 名大附属について考える
- 警察と法律
- 交通事故について
- マクドナルドのハンバーガー
- いじめ
- くすり
- 顔
- 現代に生きる若者の心理をさぐり学校のあり方について考え、明日の日本を見る。
- 鯨と象
- 比較 (日本とアメリカ)
- 自分と弓道
- 鶏と卵 (ニワトリモドキ)
- 囲碁について
- 37人の若者と平和
- みかけ
- 青少年の非行化と誘惑について
- スポーツを通して得たもの
- バレーボール
- えいご
- 集中力
- 随想
- 日本の経済について
- われ在る故にわれ思う
- 旅
- 夢 (という言葉について)
- (留学中)
- 栄養について
- お金の価値観について
- 小さな国際親善
- 子供と夢
- 最近思ったこと
- 飢餓について
- 犬と人間
- 舞台に立つ喜び
- HarataまたはHaramaそしてEco (ロシア語)

36. はずかしがりや
37. フェバリット
38. 料理
39. 引越し
40. うちのお祖母ちゃん
41. ダイエットについて
42. 動物保護について
43. 人前でのお話
44. 愛教大戦
45. 電話予約
46. (留学中)

### 〈資料3〉 下書きメモ例

#### 13. 「鶏と卵」

正しい姿勢で、後の黒板をみて、手ぶりもほしい  
ゆっくり、はっきりエートをいれずに話す  
期待をうらぎるな

「鶏と卵について話をします。(パチパチパチ)

「皆さんは『鶏が先、卵が先か』と言う言葉を聞いたことがあると思います。『鶏が先か、卵が先か』この言葉は2つの事柄のどちらが先におこったかよくわからないときに使われます。実際には『鶏と卵』はどちらが先なのか？ある日この事を僕は考えてみました。そして、ある仮説を導きました。それは、『鶏に最も近い先祖の鳥がいて、ある日その鳥の雌が卵を生んだ。そして、卵からひよこがかえり、そのひよこが鶏だった』と言う仮説です。皆さんはどう思いますか(1秒間を開ける)この仮説からいくと『鶏が先だろうか？それとも卵が先だろうか？』は、卵をどう見るかによって違ってきます。仮に、先祖の鳥を『ニワトリモドキ』

とします。そのニワトリモドキが産んだから、『ニワトリモドキの卵』とするか、鶏が産まれてくるから『鶏の卵』とするか、これによって変わってきます。『ニワトリモドキの卵』なら『鶏が先』になる。『鶏の卵』なら『卵が先』になるというわけです。(ウーン、なるほど)

しかし、これは僕の仮説にすぎません。それにここでは、日本語の話をするためにこの言葉を持ちだしたのではありません。『鶏と卵』はみなさんで考えることにして、生物の進化について話を進めていきます。

先程でてきた『ニワトリモドキ』の事について話をして行きましょう。この、『ニワトリモドキ』は、どれだれ鶏に近かったのでしょうか？先程のように『ニワトリモドキの産んだ卵』から突然『鶏になるひよこ』が誕生したのか？それとも、『ニワトリモドキ』の先祖からすこしずつ進化して『鶏』に近い生き物がでてきたのか？(1秒 開ける)答えをすぐ言いますと、現代の科学では『鶏』の場合、後の説に近いような形で進化してとされています。今、『鶏』の場合と言いましたが、これは『鶏』がある意味でほぼ頂点にいる生物だからなのです。『鶏が頂点にいる生物なんてねー頂点にいる生物は人間だよ』と思っている人がいると思います。しかし僕の言っている事は人間も頂点にいれば、亀もタコも蝶もミミズも昆布も茸も頂点に位置します。どの生物もその環境に適そうと試行錯誤をくりかえして今日に至っているのですから、「頂点にいないわけがない」と言っても良いのではないのでしょうか？だから後ほんのわずかず調整をして、『究極の生物』になろうとしているのです。(みんなの態度が真剣なので調子によって黒板に長いLINEを引きはじめる)

地球誕生——生物誕生——ラン藻誕生——酸素安定——恐竜全盛期——人類誕生——現在 46億年を46日にすると

昨日                      今日 8時                      23時59分50秒

では、昔の生物はどうでしょうか？地球が誕生しておよそ46億年たったと言われますが、現在知られている最も古い形の生物はいつ誕生したでしょう。こちらへんでしょうか？それともここでしょうか？

(いい気になってLINEの上のどのへんかをチョークを使ってさしてみんなに聞いている)

正解を言いますと35億年前です。さらに、それ以上前から生物がいた可能性も十分に考えられます。ちなみに地球の酸素量が安定したのが大体ここで恐竜が栄えたのがこちらへんで僕達人間が誕生したのがここです。(と言って内心『素人にはわかるわけネーダヨ』

と思いながら、1/2のとこと一番右のわずか5センチと1センチくらいの所に印をつける。)これを聞く(見る)とどんどん進化の速さが加速していくのがわかります。先程いった事を合わせますと、昔は生物はなかなか進化できなかったが、進化するとなると突然違った生き物が誕生しました。それに対して今では、1つ1つの個体を全体から見るとさほど進化してはいませんが、確実に進化していると言って良いでしょう。例をあげましょう。

昔……最も古い生物は何だったのか？(1秒)NHKでも放送しましたが、バクテリアの仲間とされ

ています。この生物はとても酸性が強く高圧力で高温でしかも酸素がない過酷な環境で生きられません。今でも子孫が海底火山の噴火口で生きています。しかし、次に誕生したと思われる生物はまるで違い、酸素をだす『ラン藻』とよばれるバクテリアです。『ラン藻』の誕生によってそれまでのバクテリアは、酵素が猛毒になって限られた環境に細々と生き残るようになっていったのです。ちなみに『ラン藻』の誕生する前は地球上の酸素がなかったのが『ラン藻』のおかげで地球上の大気に酸素が含まれるようになりました。この生物も現在細々と生きています。

今……最後に、この話を聞いても生物の進化なんて感じることはできないと思っている人に人間のみじかな進化の話をしましょう。昔の人にあった親不知は、はえてこない人もいます。人間の尾底骨は今でも小さくなっているし、耳を動かすことのできる人はすくないはずです。そして、これからも人間の脳は発達して行くでしょう。ここにいる皆さんも進化の途中にいるのです。」「みなさんの日常生活とは関係ないことも良いのではないかと、あえて話題にしましたがどうだったでしょうか？これで、終わります。」(パチパチパチ)

#### 〈資料4〉 下書メモ例

##### 16. 「青少年の非行化と誘惑について」

近ごろの若い者はやる気というもんがないと思う。それは何に対しても無感心、無感動という気持ちが出てしまうからだと思う。その割には怖いもの見たさという気持ちだけはとどまる所を知らずふるまう行動、あるいは罪への意識のなさが、まきおこすさまざまな事件についてまっこうからいどむ現実をとらえ具体例をとりまぜておくるスペシャル大作を話してみる。

例えば、酒、タバコ、シンナー、ヤクなどさまざまなチャリにやっかいになる事があるが、一本だけ、一回だけという気持ちは必ずといっていいほど常連の道を歩むことになる。考えてみれば初めはつかまるとかんとか、おこられるからといって、えんりょがちにやっている事が回を重ねるたびに平気になっていく。考えてみればそれは恐ろしいことだと思う。だから、赤信号みんなで渡れば恐くないという考え方あるいは暴走族的な考えが出てくるのやろう。

まーどっちにしても何か悪い事にさそわれた時、はっきりイヤという返事が出来る意志をみなさんにももってもらいたいわけです。